

# 統計コラム4コマ Plus

今回のテーマ **こんな統計が欲しかった！簡単・便利な長期時系列表の整備**

登場人物



チヅル

統計課がいばらきクリエイターズハウスと手掛けた統計小説「異世界統計数項」の主人公。女子高生だがイヴァリ王国の王位継承候補者の一人。



アズール

「異世界統計数項」でチヅルの従者として任命されたが真面目な性格のせいかチヅルに振り回されがち。



## 1 統計にも大切な「おもてなし」

「かゆいところに手が届く」「木を見て森を見ず」という言葉がありますが、統計の仕事をしていると「手が届いていない」「森を見ていない」と気付かされることがあります。

人口のデータは様々な施策のベースになる重要なデータですが、ある時、県北振興や少子化対策など「人口」に深く関わる仕事をしている部署から「市町村単位の年齢別の人口の推移を長期に把握できる統計はないか」と相談を受けました。もちろん県全体の年齢別の推移表はありましたが、市町村別には作成していませんでした。

また、市町村が総合計画などを策定する際には、主要な産業の推移や産業の現状分析について統計課が相談を受けることがあります。計画の原案に過去の統計データについての記載が少ない場合が見受けられ、統計課が長期にわたる統計表を整備していないことから、このようなことが生じるのだと思いました。

統計課では、毎月または1年ごとなど頻繁に統計データを公表しています。しかしどれも「公表しっ放し」で、長期のデータを把握しようとする、毎回の公表データを一つひとつ調べなければならぬ、平成の大合併以前の市町村のデータは現在の市町村域のものに積み上げなければなりません。そこで「こんな統計が欲しかった」と思ってもらえるような長期時系列表を整備することにしました。「おもてなし」は統計にも必要だと思うのです。

## 2 「ひよっこ」がきっかけ？

NHKの連続テレビ小説「ひよっこ」の主人公は、昭和中期の集団就職の世代です。統計課では仕事柄、統計に関する雑談をする機会が多くありますが、あるとき、この時代の県北地区の10代後半の人口の転入転出はどのような状況だったのか話題になりました。しかし残念ながら、その根拠になるような統計表を作っていませんでした。

県や市町村には長期にわたる統計表のニーズがありましたが、人口移動や産業構造の変遷を明らかにすることは、

統計課の分析業務として価値があるテーマです。そこで、長期間にわたる統計表「長期時系列表」を作ってみようかと思ったのがきっかけです。また、長期でみると変化が分かりやすくなるというメリットがあります。

### 3 コンセプトは「より長期に、より細かく、より使いやすく」

様々な統計調査がある中で、国勢調査と国民経済計算は、統計法に統計を実施すべき根拠が直接規定されています。つまり「人口」と「経済」は最も重要な統計データですので、まずはこの二つをテーマに統計表を作成しました。

#### (1) 市町村別国勢調査人口

人口は、概ね50年をさかのぼることを目標にしました。戦後の復興から高度成長に至る人口増加期から現在に至る変化を見てとるためです。また、市町村別・性別はもちろん、年齢別の統計表を作成することにもこだわりました。人口は年齢3区分(0歳～14歳、15歳～64歳、65歳～)で表すことが多いのですが、これだと年齢の範囲が広すぎて活用方法が限定されてしまいます。

一方、年齢別にすることによって、例えば「20代女性」「男性を10歳ごと」といったように、ユーザーが自分の目的に沿った形で統計表を自由に編集することができます。

さらに、統計表は一つの項目(例えばある市の男性の年齢別人口)を表すのに、エクセル1シートに落とし込むようにしました。これによりグラフにしやすくなります。

昭和30年頃は市町村数が285ありましたが、それを現在の44市町村に合算するのに長い時間を要しました。しかし逆に言えば、ユーザーはこの労力をかけることなく統計表を使用できるので、ユーザーの労力を大幅に省力化することができました。

#### (2) 市町村民経済計算

昭和50年から平成26年度までの統計表をまとめました。第1次産業から第3次産業まで、さらにそれらを14産業に区分したもの、加えて雇用者報酬や財産所得、企業所得なども掲載しています。現在は昭和50年からの統計表ですが、今後さらに過去まで遡って作成する予定です。

産業構造の変遷の把握や市町村間の比較などに活用できますので、市町村ではこうしたデータを計画策定や施策立案に活かしていただきたいと考えています。

## 4 長期時系列表の活用方法

### (1) 事業立案に活用する場合

市町村では、このような状況は想定されないでしょうか。A市長が言います。「これからのA市を支えるのは子ども達だ。子育て世代を応援する事業を検討したい。昭和から現在までのA市と隣のB市の20代女性の人口の推移を比較して欲しい。」

長期時系列表がないと、20代女性の人口を抜粋するのも合併前のデータを足し上げるのも大変な労力を要します。でも、長期時系列表があると図1を5分程度で作ることができます。

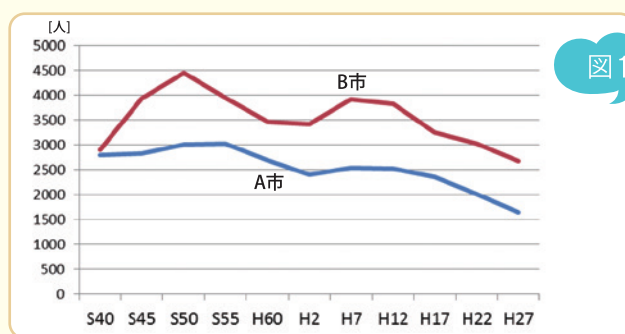


図1

ゴフンデツクレル!



### (2) 計画策定に活用する場合

A市長が言います。「総合計画を見直すので基幹産業の変遷をみたい。農業と製造業、サービス業について昭和から現在までの総生産の推移をみたい。」長期時系列表があると図2を5分程度で作ることができます。

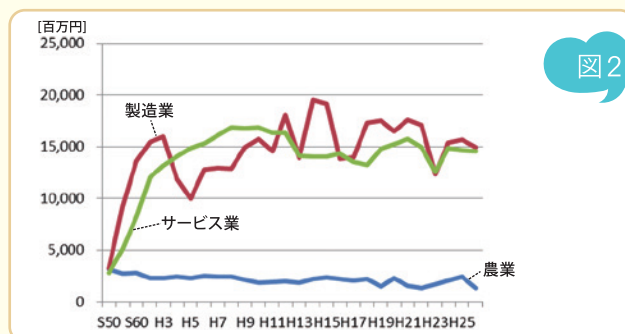


図2

デベナ  
シシカ  
ヨリナ  
カ!

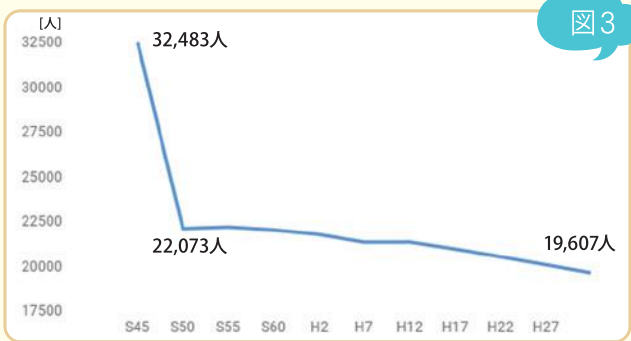




### (3)「ひよっこ」の今!

統計表を作成したきっかけとなったひよっこ世代の人口の推移を明らかにしました。

県北地区のみね子の同世代の人口は32,483人(S45年)でしたが、18歳から20歳になった頃には集団就職などにより22,073人となりました。そして63歳から65歳になった今(H27年)、19,607人が県内に住んでいることが分かります。みね子と乙女寮の親友達はきっと今頃、茨城県や各自の出身地を旅行などして楽しんでいるのではないのでしょうか。



### (4)活用方法は他にもたくさん

市町村別の長期時系列表をこのように、より長期により使やすく整備した取組は全国初です。長期時系列表があれば、統計という根拠(エビデンス)に基づく行政運営の手助けになりますし、民間企業や学術機関においても活用の場面が想定されます。

県では、統計データのユーザーからの要望を踏まえ、既存の統計表を使いやすく改変するほか、新たな統計表を作成するなど、統計データに基づいた施策立案を支援していきます。今回ご紹介した活用方法は一例ですので、統計表の見方や活用方法について統計課にお問い合わせください。勉強会などの講師としての派遣にも応じます。

また、ぜひ皆様方の活用方法を見出して、その活用方法を統計課にも教えていただければ幸いです。今後は、統計のユーザーの皆様に、長期時系列表の活用方法をメニュー化したものを示していきたいと考えています。

## 5 長期時系列表の見方(例:人口)



長期時系列表を手に入れたはいいいけど、どうやって見ればいいの?

基本表										人
年	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳
S40	1,352	1,480	1,475	1,624	1,651	1,386	1,227	1,138	817	387
S45	1,089	1,136	1,179	1,248	1,378	1,194	1,121	1,065	952	619
S50	845	912	879	947	1,002	1,002	1,049	991	723	537
S55	693	778	836	808	702	832	883	846	625	496
H60	727	755	757	760	744	691	747	808	630	401
H2	631	623	684	748	665	732	744	734	645	476
H7	668	670	631	673	630	640	618	673	645	473
H12	518	524	594	573	588	659	672	628	557	418
H17	424	470	457	476	512	515	537	591	490	433
H22	402	398	400	475	420	425	466	454	386	365
H27	318	352	351	373	375	395	388	384	419	279

長期時系列表の見方はとてもシンプルだ!

- 縦にみると、ある年齢の人口の推移がみれるぞ!
- 横にみると、ある年の人口の実数や構成比。
- 斜めにみると、ある集団のその後の人口の推移。そして、足してみると、10代女性というようにユーザーが自由に表を改変できるのだ!

チヅルもちょっとは勉強しなさい



## お問い合わせ

茨城県企画部統計課企画分析グループ ☎029-301-2632 WEB いばらき統計情報ネットワーク 検索

統計小説・異世界統計数唄はこちら



続・異世界統計数唄はこちら

